



「こんな人」が内閣の要職に再びいたら・・・

今年八月に次のような報道があった。即ち、二〇一五年四月、愛媛県と今治市の担当者に学園幹部が同行し、柳瀬唯夫首相秘書官(当時、現経済産業審議官)と面会していたと。

質問に答えぬ記者会見
内閣官房長官記者会見は平日二回行われる。その記者会見で、この問題を「しっかり国民に説明する準備はないのか」と記者に問われた官房長官は「国会で述べた通りだ」「ここ(記者会見場)は質問に答える場所ではない」と質問を打ち切った。

「こんな人」が

もし、そうだとすると、我々は本人もウソと思ったり、云ってることに裏があると思っ
ているような話を聞か
されることになる。

怪しくなければ
記者会見は分かりやすく、国民が理解出来るように「丁寧」に説明する場だろう。「隠すことは無い」なら、ど

明できる。
もし「ウソ」や「隠し事」があるとしたら、どうか? 色々な角度から質問されるとウソや隠し事がばれる。追及されないように、答弁を拒否したのでは?
「こんな人」が再選されて再び内閣の要職に
ついたら、「モリかけ
なんて小さい」と二階
氏が云ったように、もっ
と大きな問題が隠され
るのではないか?
「こんな人」の街頭演
説には、しっかり眉に
つばをつけて聞こう。
皆さんはどう思われ
ますか?

都電荒川線

東京都豊島区 JR大塚駅前
二〇一七年十月



地下鉄だと、ドラえ
もんの「どこでもドア」
のように、乗ったら、
目的地に着く。
一方、都電荒川線に
乗ると「並木の紅葉が
きれい」とか、「今日
この店にはお客が沢山」
など季節の変化、街の
雰囲気を読み取ること
ができる。

それが路面電車の魅
力の一つだろう。

地下鉄では地下まで
の上がり下りがある。

エスカレーターがある
とは云え、年寄りには
大変。最近の路面電車
なら床も低いのでどん
な人にも優しい。

路面電車は輸送力が
低いと云う人もいる。

ヨーロッパでは三、四
両連結して走らせ輸送
力を確保している。ス
イカやパスモで人手も
余りかからない。

是非とも路面電車を
横浜にも復活して貰い
たいものだ。

